

# HIROSE-HOSP. HIROSE-HOSP.

## ひろせほすぶ 2005

### 広瀬病院・医師紹介 第2回

★広瀬病院の医師を紹介いたします。



- ① 氏名 Dr.
- ② 専門分野
- ③ 趣味
- ④ 一言・抱負



- ① 加地 良雄 Dr.
- ② 手の外科  
マイクロサージャリー
- ③ 自転車
- ④ 上肢の疾患でお困りの方は、  
ぜひ一度御相談下さい。



- ① 清水 誠英 Dr.
- ② 上肢
- ③ スクーバダイビング
- ④ 頑張ります



- ① 菅田 吉昭 Dr.
- ② 脊椎脊髄病
- ③ 野球・ゴルフ
- ④ 腰痛、坐骨神経痛、  
上下肢のしびれなどの  
軽減のためにお手伝いを  
します。



- ① 土橋 尚美 Dr.
- ② 内科一般・呼吸器
- ③ ペット（コーギー）との散歩  
園芸
- ④ 親しみやすい内科を目指し、  
患者様の疑問や不安に  
お答え出来る様努力  
したいと思います。



- ① 佐々木 寛二 Dr.
- ② 整形外科
- ③ 読書・車遊び
- ④ よろしくお願ひします



- ① 秋山 知之 Dr.
- ② 整形外科
- ④ いつもお世話かけております  
今後共、  
よろしくお願ひ致します。

# 『第二回 研宣会 職員全体研修会』

先日、2005年6月23日(木)『高松テルサ』にて、研修会を行いました。  
最初に院長より次のようなあいさつがありました。



## 院長のあいさつ

病院や医療関係者にとって、接遇が大事であることは既に常識となっていますが、頭でわかっている事と、実践する事との間には大きな違いがあります。患者様のクレームに対して、どう考えどう対処するかは、接遇の質を高めることにつながります。本日の研修を、自分達の接遇を見直してさらに改善する良い機会として下さい。



## 第一部 講義『患者満足につながる接遇』



講師 福田 泰正<sup>ふくだ やすまさ</sup> 先生による講義では、接遇=『おもてなし』という事、患者様にどう接する事が大切なのかという事を学びました。また、患者様が最も満足するのは人が提供する良質のサービスであり、専門的な知識を高める事や患者様との信頼関係を築く事がとても重要であるという事を改めて教えられました。

## 第二部 ディスカッション



全8チームに分かれ、7つのテーマについて話し合いました。各チームそれぞれのテーマに基づき、様々な考え方や捕らえ方をディスカッションする事で、接遇に対しての個人の認識を高める事が目的です。

## 第三部 個人情報保護法について

### 個人情報保護法に関するQ&A

今年の4月から施行された個人情報保護法について、事務長より解説がありました。個人の情報をどう扱う事が重要なのか、情報を扱う上でどのような対応方法が適切であるのかなど、Q&Aをおして勉強しました。

## 第四部 病棟アンケート結果発表

調査期間 2005年5月6日～2005年6月5日  
対象者 在院1週間以上で、高度な認知症がない患者様

## 第五部 ACLSビデオ鑑賞

BLS: 一次救命処置 (Basic Life Support)

人工呼吸・心臓マッサージを行うことで医療従事者には必須の技術です。  
さらに病院事務職員・一般市民にとっても身につけたい技術ですね。

ACLS: 二次救命処置 (Advanced Cardiovascular Life Support)

BLSに加えて気管内挿管、除細動、薬剤投薬などを行い、医師一人ではなく他の医師、看護師のコメディカルと行なうチーム医療であり、院外の場合ではさらに救命救急士も関連します。

以上のように、心肺蘇生法はこのBLSとACLSの二つを根幹に構成されています。



ここでは、突然の心肺停止に対して『ACLS』の正しい対処法をビデオ鑑賞で学びました。もしもの時にそれぞれのスタッフが連携して動くことができるように、日頃からチーム医療を心がける事が必要だと感じました。

### 第六部 救急救命士実演



香川救命救急士会の有志による『JPTEC』のデモを披露していただきました。JPTECとは「外傷初療の標準化」プログラムの一つとなります。具体的には、外傷現場において適切かつ迅速な観察を行い、ロード&ゴーの適応を判断し、生命危機に関わる処置のみを行い、5分以内に現場を出発し、また適切な処置が行える医療機関に、適切な搬送手段を用いて早期に搬入する方法です。その他にも、心肺蘇生法の実技学習のできる模擬人体と実際のAEDと同じ操作が体得できるAEDトレーナ(自動体外式除細動器・心臓電気ショックの器械)を用いて、医師や看護師、その他の職員も救急救命士の指導のもと、適切な対応ができるように体を動かして訓練を行いました。



### 第七部 ディスカッションの発表

各チームのコーディネーターにより、チーム内で話し合った内容をまとめて発表を行い様々な意見の交換をしました。

### 第八部 副院長の言葉

今回の研修で、個人の新しいテーマが見つかったと思います。それに向かって頑張ってください。



## 部門紹介 外来



患者さんと・・・



外来スタッフ

外来では皆様の診療がスムーズに行え、より良い環境で待ち時間を過ごしてもらえるよう日々努力しております。待合の環境整備に努めたり、肩こり・腰痛体操などのビデオを放映したり、小さなお子様には絵本をおいたりしていますのでご利用になってください。また、血圧測定・動脈硬化の検査や骨密度の検査など皆様の健康生活のお手伝いをさせていただいております。これらの検査は、いつでもできますので気軽にスタッフに声をかけてください。

外来スタッフ 一同



## Open MRI



MRI(磁気共鳴画像)とは・・・  
Magnetic Resonance Imaging

強い磁石と電波を使って体の内部の状態を検査する方法です。  
患者様の体を切ったりすることなく、いろいろな角度から体の断面の撮影をすることができます。



検査は、撮影する目的によって時間が変わりますが、

**約30～50分** くらいです。

当院のMRIは「オープンMRI」です。広く開放された環境で検査が受けられるので閉所恐怖症の方を始めとして小児やお年寄りなど安心して検査を受けることができます。小児の検査などお母さんが付き添って検査することもできます。

### MRIが有効な疾患とは？(一例)

頚椎症・胸椎・腰椎のヘルニア・骨軟部腫瘍・関節の靭帯損傷・半月板損傷 など

### MRIを受けるときの注意

MR I で使われる磁石や電波は、普通の場合は人体への影響はありません。  
ただし、心臓ペースメーカーを装着している方や体内に脳動脈クリップ、人工関節などの金属が埋め込まれている方などは検査を受けられないことがあります。  
事前に問診をとりますのでそのときにご相談ください。

※ 詳しくは、担当者までお気軽にお尋ねください。



医療法人社団研宣会

専門性を生かした

患者様中心の医療と看護



広瀬病院

〒760-0079 高松市松縄町35-3 TEL : 087-867-9911(代) FAX : 087-867-9988

ホームページ <http://www.hirose-hosp.or.jp>

Email [info@hirose-hosp.or.jp](mailto:info@hirose-hosp.or.jp)

発行者：医療法人社団研宣会理事長 広瀬友彦

編集：広瀬病院広報委員会

発行日：平成17年8月